



ヨモヨモ だより

2021年10月14日(No.8)

鳥取市立明德小学校図書館

文責：奥脇

読書の秋がやってきた！

秋が徐々に深まり、すがすがしい季節になりました。何を始めるのにもよい季節です。秋と言えば読書です。「人は食べたもので体ができる。読んだもので心ができる。」と言われることがあります。心も体も大きく育つ、みなさんの心の栄養の補給は、わくわく図書館へどうぞ。

あたらしいほん

身近なアノ名前クイズ



なにげなく、みすごしているモノにも、きちんと名前がついているのです。たとえば、お刺身やお肉の下にしかれているアノ紙の名前は「ドラキュラシート」本屋さんに行くとトイレに行きたくなる現象を「青木まり子現象」と言います。

子どものための名言集

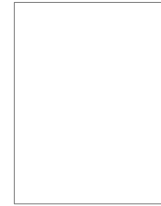
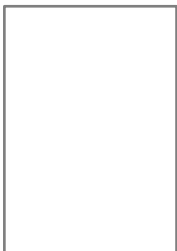


いろんなことで、なやんだり、こまったり、かなしくなったりします。そんな時に、偉人の名言を読むと、なにかヒントになることがあります。「ことばの元気玉」です。

早すぎた天才

大野正人・著

ユニークにするのが早すぎた**ファール**。科学で証明するのが早すぎた**ガリレオ・ガリレイ**。センスがちょっと早すぎた**ゴッホ**など、夢中で人生をかけぬけた人物達。



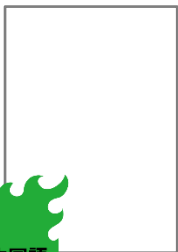
5年生国語

ユニバーサルデザインで みんなが過ごしやすい町へ

みんなが町で快適にくらすために必要なもの「ユニバーサルデザイン」ってなんだろう。

ゾウの長い鼻にはおどろきの わけがある！

ゾウの鼻には骨がありません。そして、なんとゾウは、海で生活していたかもしれないのです。



4年生国語

くさい！

クライヴ・ギフォート・著

においをかぐって、どんなことが考えたことがありますか？この本を読めば、においのことならなんでもわかります。毒ガスなみにくさい王様の話とか。



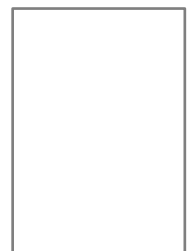
こども衛生学

ありそうでなかった、こどものための衛生学。なぜ、先生はみんなの顔をしっかりとみてあいさつをするのか？これもくらしの衛生学。



続々ざんねんな生き物事典

ヒトもざんねんなところがあります。「はだかだと、ものすごく弱い」



海は地球のたからもの全3巻

保坂直紀・著

地球のたからものでもある海に、大きな変化が迫っています。私たちにできることはあるのでしょうか。

生きもののワオ！

松橋利光・著

知ってそうで知らない豆知識。シマウマの鳴き声は「ワン」、キリンは、「モー」。サイのツノは、毛のかたまりなど。

世界でいちばん美しい こども元素ずかん

セオドア・グレイ・著

あなたが、さわれるものは、すべて元素でできています。ながめるだけでも、美しい図鑑です。

世界遺産になった食文化 和食

2013年、和食はユネスコの無形文化遺産に登録されました。和食には、3つの特徴があります。それは、なんでしょうか？

6年生国語

世界を「数字」で見えたら

数字や事実にびっくり仰天。人が、人生で消費する食事の量は、30トン。トイレに費やす時間は6か月。

和食のだしは海のめぐみ 全3巻

阿部秀樹・著

和食を作るときには、主に3つのだしが利用されます。「昆布・かつお節・にぼし」です。これらのだしは、どこからやってきて、どのようにして、私たちの食卓まで届くのでしょうか。

6年生国語

お菓子はすごい！

パティシエ先生が教える、子どもからつくれる、おいしいお菓子づくりの本です。作り方のポイントがわかりやすいよ。

うりぼうウリタ もりのがっこう

おくやまゆか・著

いのししの子、うりぼうのウリタは、くいんしんぼうで、あわてんぼう。ゆかいでたのしいおはなし。

レディオワン

斉藤倫・著

「みなさん、こんばんわん。」ではじまる、犬のDJ、ジョンがおくるラジオばんぐみ。

SFショートストーリー傑作セ レクション

SFとは、空想科学小説のこと。タイムマシンやロボットに代表されるような常識では説明できないような、不思議なお話。

めいたんていサムくん

那須正幹・著

見たところは、ふつうの小学生サムくんは、じつはめいたんてい。お気に入りのハンカチをもって、じけんをかいけつ！

人気のシリーズが 入りました！

『がっこうのおぼけずかん
おぼけいいんかい』
『おまつりのおぼけずかん』
『銭天堂 16』『鹿の王 3・4』
『本好きの下剋上』

ウシクルナ

陣崎草子・著

ぼくのうちに、突然、関西弁を話すおっさんウシがやってきた。